

## 山口情報芸術センター [YCAM] イベント

YCAMオープンラボ2021

## オルタナティブ・エデュケーション

2021年11月26日(金)～2022年2月26日(土)

インターネット (YouTube Live / 特設ウェブサイト) で配信

## 国内外の専門家と考える「アートと教育」

## オンラインのレクチャー+トークセッションシリーズがスタート！

山口情報芸術センター [YCAM] では、今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すイベント「YCAMオープンラボ2021：オルタナティブ・エデュケーション」をオンラインで開催します。

近年、作品発表などの芸術的実践が、美術館や劇場といった制度化された空間から逸脱し、鑑賞者や地域コミュニティとの関係性を重視する傾向が広がっており、表現を支える場所のあり方が大きく変化しつつあります。

このイベントでは、「オルタナティブ・エデュケーション」と題して、「アートを通じた学びの可能性」や「社会におけるアートセンターの役割」などをテーマに、アートと教育に関する実践を重ねるゲストを迎え、2021年11月と2022年2月に、オンラインでトークイベントなどを実施するほか、その間は収録した対談の映像をウェブサイトで公開していきます。

多彩なゲストによるアートと教育をめぐるさまざまな議論は、新たな議論を触発し、新たなアートセンター像を描き出すでしょう。この機会にぜひご覧ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: [press@ycam.jp](mailto:press@ycam.jp) ウェブサイト: [www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



「YCAMオープンラボ2021：続・ナマモノのあつかいかた」の様子  
(撮影：谷康弘)

## アートや研究開発、公共文化施設の現在を探る YCAM オープンラボ



「YCAM オープンラボ2019: ナマモノのあつかいかた」の様子 (撮影: 谷康弘)

YCAMでは開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求をおこなっており、YCAMでなければ生み出せないオリジナル作品を多数制作、発表してきました。また作品制作と同時に、作品と鑑賞者をつなぐギャラリーツアーや、人々の好奇心や想像力を刺激する教育プログラムの開発／提供もおこなうほか、さらに近年は、さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、地域課題や地域資源に結びつける取り組みもおこなっています。

「YCAM オープンラボ」は、そうした多岐に及ぶYCAMの活動の全体像を、幅広い層の人々に向けて紹介すべく2017年にスタートした複合型のイベントです。YCAMの活動を支える研究開発チーム「インターラボ」のメンバーや、毎年設定されるテーマに沿ったゲストによるトークイベントを軸に、多彩なプログラムが展開されるのが特徴です。こうしたプログラムを通じて毎回、YCAMの現在、そして開館以来のミッションである文化基盤としての情報の可能性を描き出しています。

5回目の開催となる今回は、前回同様、会場をオンラインに移し、「オルタナティブ・エデュケーション」と題して、「アートを通じた学びの可能性」や、「社会におけるアートセンターの役割」をテーマに4ヶ月に渡って継続的に開催。国内外からアートと教育に関する実践を重ねるクリエイターやキュレーター、教育者などの実践者を招聘し、レクチャーとトークセッションをおこない、それをウェブサイト上で公開します。

### ■ これまでのYCAM オープンラボ

YCAM オープンラボ2017

**HELLO, YCAM!**

2017年12月15日～17日

ゲスト：伊藤亜紗、柴田剛、三宅唱、橋本裕介、林篤志、エキソニモ、細尾真孝、寛康明、古館健、徳井直生、環ROY、久保田晃弘、馬定延ほか

YCAM オープンラボ2018

**グッドセンスなラボ**

2018年10月6日～8日

ゲスト：アレクシー・アンドレ、本條陽子、菅野薫、ポール・ダンスステップ、チェ・テユン、小川秀明、真鍋大度、石橋素ほか

YCAM オープンラボ2019

**ナマモノのあつかいかた**

2019年11月16日～17日

ゲスト：サンドラ・サジョヴィッチ、ヌル・アクバル・アロファトゥラ、片野晃輔、ハリー・アクリゴ、contact Gonzo、オロン・カツ

YCAM オープンラボ2020

**続・ナマモノのあつかいかた**

2020年6月7日～8月2日

ゲスト：ヌル・アクバル・アロファトゥラ、ハリー・アクリゴ、オロン・カツ、片野晃輔、ゲオルク・トレメル、J.J.ヘイスティングス、ベス・リー、ボヤナ・ピシュクル

## 国内外の実践者と考える「アートを通じた学びの可能性」



「YCAMオープンラボ2019：ナマモノのあつかいかた」の様子（撮影：谷康弘）

世界規模で起きている社会的変化の多くはアートの世界にも影響を与えています。こうした変化は、個々のアーティストたちにとっては自明のことですが、美術館などの組織的な構造にとってはいまだに課題となっています。そうした中でもジェンダーの平等、透明性、コミュニティの発展、リソースの共有といった社会問題でイニシアティブを発揮する施設／機関も少なくありません。こうした状況を踏まえ、YCAMでは2021年度から3年間、「オルタナティブ・エデュケーション」と題して、アートセンターが地域や市民の学びの場となるよう、自らの実践を振り返り、その役割を再考するプロジェクトを実施しています。

今回のゲストは、表現やテクノロジーを日常生活のためのツールとして用いたり、さまざまな学びの手法に取り組む、クリエイターやキュレーター、教育者、研究者などの実践者たちです。11月26日に、キュレーターの堀内奈緒子と津口在五をゲストに迎えてライブ配信の形式で開催したトークイベントを皮切りに、以降は事前に収録した対談の記録映像を1ヶ月に2～3本程度のペースで2月まで専用のウェブサイトで公開します。トークイベントや対談は回ごとに「アートの有用性」などのトピックが設定されており、ゲストによるレクチャーと、YCAMのスタッフも交えたトークセッションで構成されます。

アートと教育に関する実践者との交流を通じて、アートを通じた学びの可能性、そしてアートセンターのさらなる可能性を描き出します。

### ■ 堀内奈穂子（ほりうち・なおこ）

エジンバラ・カレッジ・オブ・アート現代美術論修士課程修了。2008年より、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]にてレジデンス・プログラムや展覧会、シンポジウム、企業プログラム、教育プログラムの企画に携わる。ドクメンタ12マガジンス・プロジェクト「メトロノーム11号 何をなすべきか?東京」(2007) アシスタント・キュレーター、「Home Again」(原美術館、2012) アソシエイト・キュレーター、国際交流基金主催による「Shuffling Space」展(タイ、2015) キュレーター、「Invisible Energy」(ニュージーランド、2015) 共同キュレーターなどを務めるほか、アーカスプロジェクト(2013)、パラダイスエア(2015、2016)、京都府アーティスト・イン・レジデンス事業(2017)などのアーティスト・イン・レジデンスプログラムのゲストキュレーターを務める。2016年より、複雑な環境下にある子どもたちとアーティストをつなぐ「dear Me」プロジェクトを開始。アートや福祉の考えを通じた講座やワークショップ、シンポジウムを企画する。

### ■ 津口 在五（つぐち・あきこ）

1976年広島県生まれ。鞆の津ミュージアム学芸員。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。放課後等デイサービス勤務を経て、2013年に館の運営母体である社会福祉法人 創樹会へ入職。入所施設の生活支援員として働いたのち、現在も館内で行われる創作活動に関わりながら、展覧会の企画・運営を行う。企画した展覧会に『凸凹の凸凹』『Re: 解体新書』『原子の現場』『世界の集め方』『文体の練習』『かたどりの法則』『この出来事』『私物の在処』『きょうの雑貨』など。人生にねざした独自の創作的表現に関心がある。

## 開催概要

## YCAMオープンラボ2021 オルタナティブ・エデュケーション

2021年11月26日(金)から2022年2月26日(土)  
インターネット (YouTube Live / 特設ウェブサイト)  
参加無料

### スケジュール

11月26日(金) 19:00～21:00

アートから何を学ぶことができるか？

ゲスト：堀内奈緒子 (アーツイニシアティブトウキョウ [AIT])、津口  
在五 (鞆の津ミュージアム)

芸術表現に関する技術や思考法などを、アートのみならず地域社会や  
福祉の現場で応用しているゲストを迎え、これまで取り組んできたプ  
ログラムや経験を共有し、アートを用いた学びについて、その領域横  
断性や応用の可能性を探ります。

2021年12月～2022年2月

国内外のアートと教育に関する実践を重ねるゲストたちとの対談を  
記録した映像6本を、期間中に右記特設ウェブサイトで公開します。  
詳細は特設ウェブサイトをご覧ください。

2022年2月26日(土) 19:00～21:00

アートでいかに学ぶか？

ゲスト：堀内奈緒子 (アーツイニシアティブトウキョウ [AIT])、津口  
在五 (鞆の津ミュージアム)

イベント最終回となるトークセッションです。期間中に国内外の  
様々な専門家とともにおこなわれた、複数のトークセッションの中  
から、いくつかのトピックに再度、焦点を当てていきます。「役に立つ  
アートとは何か」「リソースを共有することの重要性」「市民や地域社  
会との関係をどう築くか」「開かれた環境や場をどう運営するか」な  
ど、これらの問いを改めて見直し、実践の可能性を広げます。

※詳細はYCAMのウェブサイトをご覧ください。

### ■ 特設ウェブサイト

イベントの記録は「オルタナティブ・エデュ  
ケーション」のウェブサイトからご覧いた  
だけます。

ウェブサイト:

[alternative-education.ycam.jp](https://alternative-education.ycam.jp)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団  
後援：山口市教育委員会  
助成：令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業  
技術協力：YCAM InterLab  
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]